

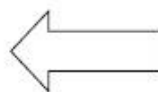
小金色のふりかえり

大事にするポイント！

1. めあてをふまえた、自分の意見が書けているか
2. 友だち(他者)の意見を受けて、自分がどう感じたか書けているか
3. 新しい自分の意見が持てたか

1、自分の考えをもう一度、ふり返る

- ・私は、○○○という意見でした。
- ・私は最初、△△△だと思っていました。



教材・他者との対話を表現できるように！

- ・言葉の意味・表現・働きを意識させる。

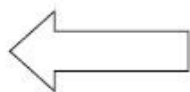
自分と他者の意見を比べて考えさせる。

似ていて・違って

いいな・なるほど・共感・疑問など

2、ペア、グループ、全体交流を受けて、感じたことを書く

- さんの意見(考え、発表)を聞いて(意見から 意見は)
- ・自分の考えと○○○の所が似ていて・違って
- ・○○○になるほど(いいな、共感、驚き)
- ・○○○という言葉(表現)に疑問に



学びの成果を実感できるふり返りに！

自分の考えの整理

←

どんな力が身に付いたのか

学んだことをどう活用していくのか

先につながるふり返りに

3、新しい気づき、発見を書く

- くがわかった。知った。(気づき)
- く変わりました。(変容)
- く新たな疑問がうまれました。(疑問)
- く次から☆☆☆してみようと思った。(活用)

取り組み

低学年

- ・わかったこと、はじめてしたこと、同じ意見や違う意見についてふり返りができるように書き方の型を示す。
- ・お手本を元にして、自分の考えを書くように指導する。

中学年

- ・自分の感想だけでなく、「他者の意見で共感したところ」「他者の意見への質問・疑問」「他者の意見を踏まえて自分の意見がどう変化したか」を意識するように指導する。
- ・「作者の考え」を念頭に踏まえたふり返りを書くように指導する。

高学年

- ・ふり返りをすることで、新しい気づきや発見につながるように指導する。
- ・「どんな力がついたのか」「学んだことをどう活用していくのか」を意識させ、先につながるふり返りになるよう指導する。